

平成26年度 学校教育自己診断結果

- 対象 生徒(回収196人)
保護者(回収74人、インターネット回答26人含む)
教職員(回収44人)
- 実施時期 平成26年12月

1. 生徒の診断結果

○得点の高い項目

		肯定的意見(%)	H26	H25
2	この学校には、生徒のニーズにあった特色がある。		88.2%	87.1%
1	桃谷高校に入学してよかった。		85.7%	82.3%
8	学校生活についての先生の指導は納得できる。		84.7%	77.7%
4	教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。		82.1%	77.0%
14	学校では、将来の進路や生き方について考える機会がある。		79.4%	71.3%

「誰もが安心して学べる学校」(項目2・1・8)

この項目については年々ポイントが上昇しており、多様な生徒が在籍する本校においてそのニーズに応える教育活動が定着しつつあると考えられる。今後も継続して取り組んでいきたい。

「主体的に学ぶ生徒の育成から進路実現へ」(項目4・14)

昨年度よりすべての教科においてキャリア教育を意識した授業づくりに取り組んでおり、教員からのメッセージを生徒たちが感じ始めていると考えられる。来年度はさらに『ももだにプログラム』をスタートさせることもあり生徒一人ひとりの進路実現に向けてより強力に取り組んでいきたい。

○得点の低い項目

7	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	43.1%	37.0%
20	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	55.1%	53.4%
12	学校は部活動にも参加しやすいように工夫している。	56.4%	46.4%
13	担任以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	64.8%	63.0%
19	学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいか、具体的に知らされている。	65.3%	60.0%

「コミュニケーション力・情報収集力の育成」(項目7・20)

来年度スタートする『ももだにプログラム』にはコミュニケーション力の育成も含まれており、授業での育成を含めて、情報を発信する力・収集する力を合わせて身につけさせていきたい。

「教育システムの見直し」(項目12・13・19)

それぞれのポイントは上昇しているものの例年得点が低くなっている内容については来年度見直ししたい。防災については、防災PTを立ち上げており、消防や区役所を巻き込んだ防災訓練やHRでの避難経路の伝達徹底に取り組むたい。

2. 生徒、保護者、教職員の診断結果の比較

○得点の高い項目

「学校に対する意識に関すること」

(項目2) この学校には、生徒のニーズにあった特色がある。

生徒：88.2% 保護者：97.3% 教員：95.5%

(項目1) 桃谷高校に入学してよかった。

生徒：85.7% 保護者：95.9% 教員：88.6%

「教育活動に関すること」

生徒：(項目8) 学校生活についての先生の指導は納得できる。 84.7%

保護者：(項目5) 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。 94.6%

教職員：(項目3) わかりやすく楽しい授業を心がけている。 100.0%

○得点の低い項目

生徒：(項目7) 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。 43.1%

保護者：(項目20) PTA活動には参加しやすい。 34.2%

教職員：(項目9) この学校では、学習や活動がしやすいように施設や設備が整っている。 22.7%